

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神医学 (リハビリテーション学科)		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
久保木 智洸	講師控室	kyoumu	随時メールで質問等受付		
授業の目的・概要	精神疾患は厚生労働省が指定をしている「5 大疾病」の中に含まれており、患者数は他の疾病と比べても最大である。そのため、理学療法士や作業療法士として医療現場で臨床を行うにあたり、精神疾患やその治療に関する知識は必須となる。本科目では特に重要な精神疾患に関する基礎的な知識を習得することを目指す。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	教科書の内容を中心に扱うため予習をすること。授業内容に関する質問は、授業中のみならず授業終了後や随時メールでも受け付けている。積極的に質問をして疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版増補版 /編：上野武治 /医学書院 /2021				
参考書	標準精神医学 第8版 / 編集：尾崎紀夫・三村将・水野雅文・村井俊哉 / 出版社：医学書院 / 2022				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神医学に関する基礎的な知識を習得し、それを説明することができる。			PT(1)、OT(2)	
②	代表的な精神疾患に関して、その治療法や対処法を理解している。			PT(5)、OT(3)	
③	精神医学の歴史を理解し、人権擁護の重要性を認識する。			PT(3)、OT(1)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：授業の概説 精神医学の概論と歴史について	講義	教科書 P2-10 を読み、精神医学の概要を理解する。	4	
2	精神障害の成因と分類について	講義	教科書 P11-15 を読み、精神障害の成因と分類について理解する。	4	
3	精神機能の障害と精神症状について①	講義	教科書 P16-30 を読み、精神症状について理解する。	4	
4	精神機能の障害と精神症状について②	講義	教科書 P31-45 を読み、精神症状について理解する。	4	
5	精神障害の診断と評価について	講義	教科書 P46-67 を読み、精神障害の診断と評価について理解する。	4	
6	脳気質性精神障害について	講義	教科書 P68-93 を読み、脳器質性障害について理解する。	4	
7	精神作用物質による精神および行動の障害について	講義	教科書 P100-114 を読み、精神作用物質による精神障害について理解する。	4	
8	てんかんについて	講義	教科書 P115-126 を読み、てんかんについて理解する。	4	
9	統合失調症について①	講義	教科書 P127-148 を読み、統合失調症について理解する。	4	
10	統合失調症について②	講義	教科書 P127-148 を読み、統合失調症について理解する。	4	
11	気分(感情)障害について①	講義	教科書 P149-163 を読み、気分障害について理解する。	4	
12	気分(感情)障害について②	講義	教科書 P149-163 を読み、気分障害について理解する。	4	
13	神経症性障害について	講義	教科書 P164-175 を読み、神経症性障害について理解する。	4	

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

14	成人のパーソナリティ障害および精神科医療と福祉について	講義	教科書 P181-187、P254-279 を読み、パーソナリティの障害および精神科医療と福祉について理解する。	4					
15	知的障害・心理的発達の障害について	講義	教科書 P188-206 を読み、知的障害や心理的発達の障害について理解する。	4					
試	筆記試験								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		70	0	0	0	30	100		
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70		
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	15	15		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	学期末に穴埋め式のテストにて評価する。主に教科書および授業内で提示した資料を元に出題をする。テスト結果が全体の 70% の評価となる。				試験の添削と評価によりフィードバックを行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
その他	①	✓	授業への参加や発言の態度について総合的に評価する(全体の 30%) 積極的に発言をすること。				授業や課題に対する取り組み方を解説する。		
	②	✓							
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
備 考									
他 担 当 教 員	なし								
教員の実務経験	精神保健福祉センターや精神科医療機関、教育事務所等で精神保健福祉の支援者として約 9 年の実務経験。								
実践的授業の内容	教科書の内容や教員の体験による実例を通し、臨床の場で必要となる精神科領域の病気や診断、治療に関する知識を学習する。								
そ の 他	今後の感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が生じる可能性がある。対面授業中は消毒や換気等の感染対策を講じる。								